

新聞掲載記事より

《 長崎新聞 令和7年4月28日朝刊より 》

※新聞記事のレイアウトを変更しております。

【質問】 健康保険料が高くなりましたが、なぜでしょうか。
(53歳、自営業)

健康保険料の値上げ

【回答】わが国の医療費は、国民皆保険制度の下、窓口負担金、健康保険料、国庫補助金で賄われています。窓口負担金は医療機関を受診した人が医療にかかった費用のうち、定められた割合の負担額を支払います。健康保険料は医療機関を受診する、しないにかかわらず定められた額を加入している保険者に支払うものです。国庫補助金は国が医療保険制度を支えるためにその運営費や事業費の一部を補助するもので、税金

高齢化による医療費の自然増に加え、高額な治療法や医療機器の導入、高額薬剤の出現などにより年々総医療費は増えています。さらには、介護保険も利用者が増え、介護費用が年々増え続けています。

やさねはなりません、
窓口負担は所得に応じ
てその割合が定められて
いますが、高所得の高齢
者の負担割合が多くなり
ました。国庫補助金も増
加する傾向にありますが、
国の財政状況でその伸び
が抑制されています。そ
うなつてくると、多くの
人が収める健康保険料を
より増やして不足する医

は岐路に皆保険制度

関も出でています。保険料を抑えるためには総医療費を抑えなければなりません。しかし、それでは医療機関が破綻し、町から病院が消える地域も出でています。一方、一つの医療機関に患者が集中して受診待ち時間が増え、適切な医療が受けられなくなる恐れもあります。

今、国民皆保険制度は大きな岐路を迎えています。国民、政府、医療者が一丸となつて打開策を考えねばなりません。

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたる、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎市「Q & A」係までお送りください。不明な点での住所、氏名、年齢、性別、電話番号を直接本人への回答はいたしません。



支えあう制度です。そのため、総額が増えると窓口負担、健康保険料、国庫補助金のいずれかを増

療費を補わなくてはなりません。しかし、これもあり高額になると保険料を納めることができなくなる人が増え、皆保険制度の破綻が危惧されます。

の改定率を0・12%下げました。これに加え、パンデミックによる外来・入院患者の減少、人件費・物価・光熱材料費の高騰などで、7割近くの医療機関が赤字経営となつてしまい、破産する医療機関も出ています。